

# faatto

まつりの予感をつくるプロジェクト

faattoは、各地に「まつりの予感」を作り出すプロジェクトです。

お祭りやイベントに際し、その数日前から、仮設的なサインとしてさりげなく非日常を織り込みことで「何かが起きる予感」を視覚的に作り出します。

その場所ならではの長を抽出し、かたちに落とし込み、展開させ、来訪者や住民の感覚を少しだけ浮き立たせます。

この「予感」は、世代や立場を問わず参加を促す共感の仕掛けであり、ふぁ〜と静かなお祭りの始まりを告げる合図です。

## これまでの実施

様々なステークホルダーとコラボレーションしながら、これまでに4箇所のお祭りやイベントで実施を行ってきました。

### 大学

#### 長岡造形大学(新潟県) 創立記念日「NIDの日」

2025.05.20



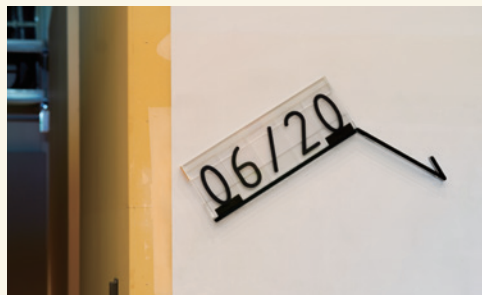
#### 大学カラーのリボンを使った予感

自分たちの所属する大学の創立記念日に合わせて、その前日の夜から大学のコーポレートカラーであるシアンブルーの色のリボンを敷地内の300本の木・ポールに設置し、予感を作りだす検証を行った。設営・撤去はチームメンバー、友人の計3人で全て行った。実施後には「創立記念日を思い出すきっかけになった」「今日何かあるのかなとワクワクした」などのコメントをいただいた。

### 企業

#### 清水建設 温故創新の森 NOVARE (東京都) ハッピーアワー

2025.06.20



#### 矢印型の仮設サインを使った予感

清水建設のイノベーション施設「温故創新の森 NOVARE」内で毎月開催される交流会である、ハッピーアワーを対象にした予感を制作した。建設会社のイベントらしい目印となるように、建物内のサインにも使われている建築の「図面記号」をモチーフとした矢印をアクリル板で作成し、イベントの3日前から建物内の至る所に設置してもらった。イベント当日は矢印に導かれて多くの人が参加した。一部の取り組みは現在も継続して設置されている。

### 美術館

#### 小海町高原美術館(長野県) こうみ夏至祭

2025.06.21



#### テーマカラーのリボンを参加者とともに 1週間前から町中に設置する

長野県小海町の美術館主催のお祭りである、こうみ夏至祭の企画の一環として、お祭りのテーマカラーである「フィンランドブルー」のリボンを1週間前から美術館・駅・商店街・橋など町中に展開した。地元の方や近隣地域の小学生に設営に参加してもらったり、当日町中からリボンを探し出して持ってくると景品がもらえる企画を行うなど、参加してもらおう仕掛けを模索した。当日、会場はリボンを持った参加者で彩られた。

### 地域

#### 北沢プロジェクト(東京都) 北沢フェスティバル

2025.11.09



#### 渋谷の北側を指す方位磁針を設置する

笹塚・幡ヶ谷・初台・本町という渋谷区の北側にある「北沢」というエリアを象徴するお祭りとして、毎年初台で行われる「北沢フェスティバル」にて、その名前の通り「北沢を指す方位磁針」を作成し、イベント開始の数時間前から会場内に設置した。磁針は風に吹かれ揺れながらも、常にイベントの中心部へと向いており、指す方向へと進むことで会場内を周遊できるサインの役割も果たしている。子どもたちから人気だった。

1 — お祭り・イベントの発見

2 — 予感の設計

3 — 予感の実施/参加の呼びかけ

4 — 毎回の継続

新たな伝統や文化としての予感へ



活動を始めた動機

タイムライン

1 | お祭りの紅白幕をみた時の胸の高鳴り

私の地元・新潟県のお祭りでは、前日の夕方から町中の家々に紅白幕がかけられていく光景がありました。その光景を見た時に「今年も祭りがくる」という予感のワクワクで胸がいっぱいになります。そんな幼少期の体験を思い出した時に、お祭りなどで胸が高鳴るような体験はこういった紅白幕のような「視覚的なアイデンティティ」によって形づくられていたのではないか、という仮説をたてました。



2 | 広告/グラフィックデザインに関する興味

大学でグラフィックデザインを学び、日々作品制作を行う中でその多くが広告という形で非常に短い期間で商業的な目的の上で消費されてしまっていることに寂しさを感じていました。また、広告を制作する自分自身も、駅や街中、インターネット上で見かける大量の広告にうんざりしてしまうこともありました。そんなジレンマを抱えている中、左で述べたような紅白幕のグラフィックデザイン的な側面に気づき、紅白幕のような「祭りが始まる予感」という部分にグラフィックデザインの力を用いることで、現在のグラフィックデザインのあり方とは違う、もう少し時間軸が長く、尚且つその場所にいる人たちに参加してもらいながら受け入れられていくようなオルタナティブな広告のデザインを行うことができないか、と考えました。

2025 5月	プロジェクト発足 NIDの日にて実施(参加者3人)
6月	清水建設NOVAREにて実施(参加者51人) こうみ夏至祭にて実施(参加者63人)
9月	新潟版未踏的人材育成事業 採択
11月	北浜フェスティバルにて実施
12月	専用WEBアプリ「faatto Atelier」を開発

今後は、12月に開発したデザインプロセスを支援するためのfaatto Atelierを使って、実施規模や実施回数をより拡大していきたいです。また、これまでに設置してきた箇所でも2年目以降の実施を行い、それを数年続けて行った先に、その場所に住む方々の意識や予感自体にどんな変化が起こるのか、ゆっくりと観察していきたいです。